

トンボの生態のふしぎ

P. S. コーベット教授（イギリス、エディンバラ大学名誉教授）

トンボの一生には、卵、幼虫、成虫の時代があって、それぞれ種類によって、気候などに適応して、期間が異なっています。

初めに、トンボの重要な目だった特徴について、お話します。まず、トンボは豪華な色彩、優美な動作と姿勢、絶妙な羽を持っていることです。

トンボの幼虫のすむ環境は、非常に多様です。池や川にすむことはよくご存知でしょうが、熱帯林の中では、木の幹のほらにたまった水の中にすむものもいます。成虫がどうして適切な環境を選べるかは、視覚と触覚によっているようです。

トンボの一生の中でも、最も感動的なのは、羽化のシーンでしょう。羽化の後には殻を残し、発消長などを調べるのに良い材料になります。

次にトンボが持つ3つのすばらしい機能についてお話ししましょう。一つは、オスの成虫が彼の子孫を可能な限り残すために頑張るということです。その方法として、交尾したメスに他のオスが近づかないように見張ったり、連結したままで飛ぶなどです。他の2つの機能とは、トンボは飛ぶことに非常に秀れているということと、もう一つは目がとてもよく見えるということです。

多くの人たちが、昆虫は害虫であると思いこんでいるようですが、トンボは私たちを助けてくれます。例えばトンボの成虫も幼虫も、カやボウフラを食べ、カを減らすのに役だっています。

最後にトンボについてお話ししたいことは、彼らが非常に古い起源を持っているので貴重であるということです。2億5千万年も前に地球上に現れて、現在まで生き続けている、生きている化石ともいえるトンボは、遠い過去からの貴重な贈り物です。この永い間生き残ってきたトンボたちに、私たちは沢山のことを学ぶことができますでしょう。

最後に、皆さんにトンボに関する質問を5つ出しますので、お話をよく聞いておいて下さい。